

※はじめにお読みください※

素材がアイロン可能かどうかを付属のラベルで確認をして下さい。

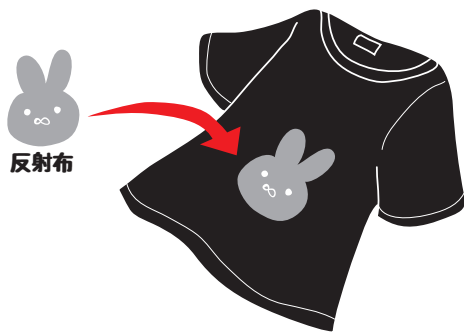
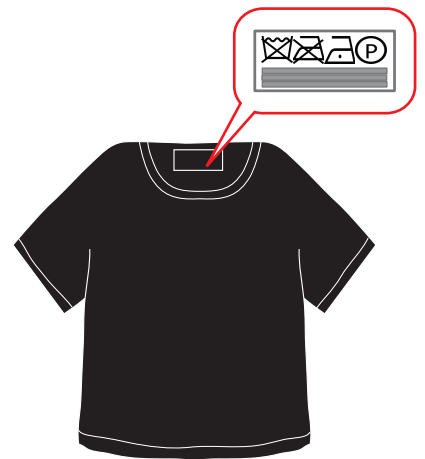
アイロンが不可の場合は右記のようなマークがついています。



ポリエステル生地への取付は可能では御座いますがアイロン接着に必要な高温にすると焦げたり色褪せの原因になったりしますので取付の際は必ず生地の様子を確認しながら行ってください。

【アイロン接着が不向きな素材】

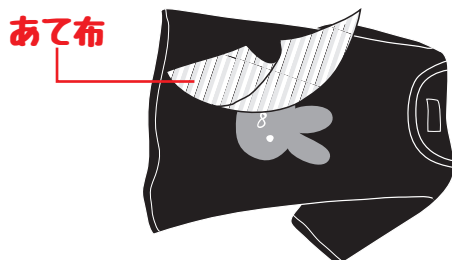
- ・ ナイロンなど撥水・防水加工がされている生地(主に雨具)
- ・ サテンなどツルツルした生地
- ・ フリース生地
- ・ タオル地等
- ・ 高級衣類、革製品、合皮など樹脂加工品



貼り付ける位置に台紙(また透明フィルム)から剥がした反射布をおきましょう。

反射材の接着面を下にして生地の上に置き、反射布が曲がらないよう平らにします。

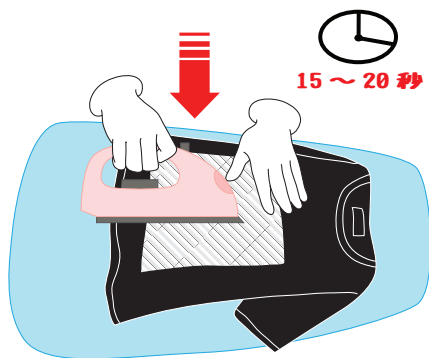
※反射布のメーカーによって、表面に保護フィルムが無いものや剥離フィルムがないもの、両方あるものがございます。アイロンをかける前に必ず確認をして下さい



反射布がずれないように反射面上にあて布を乗せて、あて布の上からアイロンで反射布を押さえ、中温設定で約15~20秒強めに押し当てます。できるだけ強くしっかり押さえましょう。給水タンクを空にし、スチーム機能は必ず切って下さい。

※中温=約140~160℃

(あくまで目安です。各アイロンメーカーの説明書の指示に従ってください)

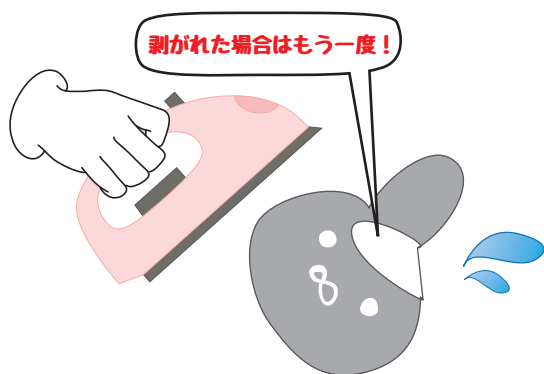


※押し付ける時間は？

約15秒～20秒程。
必ず衣類の様子を見ながら行ってください。

※あて布って？

反射布本体と周辺生地を溶かしたり焦がしたりしない為の措置です。必ずあて布をして下さい。



アイロンをはずし、あて布を被せたまま反射布が冷めるまで待ちます。冷めたらあて布をはずし、反射布の端を指でそっと擦ってしっかりと接着されているかを確認しましょう。

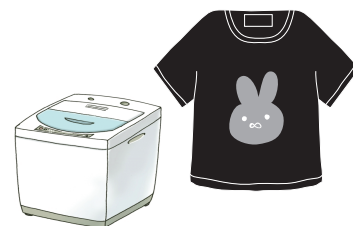
少し剥がれるようなら再びあて布をかぶせ、10秒程アイロンをかけます。

※反射布の表面は熱がこもりますのでヤケドには十分注意して下さい。

【ご使用上の注意】

※反射布をつけた物を必要以上に洗濯することはお勧めできません。※

アイロン接着反射布は半永久的とはいえ、時間が経つにつれて接着力が弱まり、洗濯によって剥がれることがあります。どうしても洗濯をしたいときはなるべく冷たい水で手洗いをし自然乾燥をさせて下さい。



- ・漂白剤の使用を避け、つけ置き洗いは行わないで下さい。
- ・熱接着に関する接着性についてはメーカー社内試験に基づきテストした結果です。お客様の生地選定、接着条件にゆだねる部分が多いことから如何なるトラブルについても保証いたしかねますことを予めご了承願います。



表示のある素材には使用できません

法和株式会社

反射材専門ショップ「みんなのはんしゃ屋」